

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人Jコミュニケーション

1. 事業の趣旨・目的

外国人児童が多い伊勢崎市では学校での学習についていけない子供が多く、その大きな原因の一つが、日本語が分からない・国語の授業についていけないということです。そこで、学校での勉強についていけない外国人児童を指導してくれる人を募集することも兼ねて、この指導者養成講座を行いました。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
[6月7日 準備会]	粹庵	ミック・カイラン 茂木克美 小谷野ゆきみ 高橋真知子 塚田清治 高橋清乃 桐野嘉六	講座の日程 講座の講師について	9月からの水曜日 夜7時 ～9時までと決める 講師の名前を具体的に出 し、その講師に交渉するこ と
9月6日	粹庵	ミック・カイラン 茂木克美 小谷野ゆきみ 高橋真知子 塚田清治 高橋清乃 桐野嘉六	毎回の予定 教育長からのご挨拶 の確認 コーディネーターの仕 事 補助者の仕事の確認	予定していた先生の変更 があり、そのための準備。 コーディネーターは毎回講 師と連絡をとり、準備等の 確認。 実際には補助者が当日の お手伝いをする。
11月8日	粹庵	ミック・カイラン 茂木克美 小谷野ゆきみ 高橋真知子 塚田清治	これからの予定	子ども日本語教室を始め るので、その参加者を募 り、予定を決めた。 チラシを作り、教育長のと ころに行き、学校での配布

		高橋清乃 桐野嘉六		のお願いをする
--	--	--------------	--	---------

【写真】



3. 養成講座の内容について

- (1) 講座名 日本語指導者養成講座
- (2) 開催場所 粋庵（伊勢崎市本町 20-1 茂木園 2 階）
- (3) 学習目標 子どもの学習支援を含めた日本語指導者の養成
- (4) 使用した教材・リソース みんなの日本語・光村書店 こくご上・全国都道府県教育長協議会平成 20 年度共通研究テーマ報告書「外国人児童生徒のための支援」
- (5) 受講者の募集方法 伊勢崎市内の小学校・中学校及び外国人学校へちらしを送付した。また、友人知人を通して広く募集した。

- (6) 受講者の総数 35 人

（出身・国籍別内訳 ブラジル人 1 人、ペルー人 3 人、中国人 1 人、日本人 30 人）

- (7) 開催時間数(回数) 20 時間 （全 10 回）

- (8) 参加対象者の要件 現職・退職教師・日本語の話せる外国人及び日本語指導に興味・関心のある人

- (9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
①	9 月 7 日 19:00～21:00	2 時間	33 人	開講式 バイリンガルの子供たちの 素晴らしさ	大東文化大学教授 特定非営利活動法人多言語教育研究所理事長 ミック・カイルン
②	9 月 14 日 19:00～21:00	2 時間	31 人	日本語と日本語教育概観	群馬大学国際教育研究センター非常勤講師 財団法人日本国際協力セン

					ター委嘱講師 渡邊知釈
③	9月28日 19:00～21:00	2時間	27人	日本語と国語の違い	共愛学園前橋国際大学非常勤講師 古川敦子
④	10月5日 19:00～21:00	2時間	29人	小学生への日本語指導	日本語教師・編集・ライター 青山 豊
⑤	10月12日 19:00～21:00	2時間	29人	教授法・直接法体験	群馬大学国際教育研究センター非常勤講師 財団法人日本国際協力センター委嘱講師 渡邊知釈
⑥	10月19日 19:00～21:00	2時間	24人	日本語文法 1	日本語教師 財団法人日本国際協力センター委嘱講師 木島弘子
⑦	10月26日 19:00～21:00	2時間	23人	日本語文法 2	日本語教師 財団法人日本国際協力センター委嘱講師 木島弘子
⑧	11月2日 19:00～21:00	2時間	28人	日本語教師として知っておきたいこと	日本語教育コンサルタント 鈴木信之
⑨	11月9日 19:00～21:00	2時間	22人	柏市市での支援活動や他地域の活動事例の紹介	元柏市日本語学習支援ボランティア 高橋眞知子
⑩	11月16日 19:00～21:00	2時間	25人	まとめ、質問、感想、閉講式	特定非営利活動法人Jコミュニケーション理事長 高橋清乃

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

(アンケートの集計を添付)

② 実施主体からの研修内容結果評価

初めて日本語を教える人たちにとっては、ちょっと難しかったようです。日本語を教えるための基本的なことだけを講座として設けたつもりでしたが、内容が濃かったようです。ただ、目標としていた「子ども日本語教育」をスタートさせることができたので、それに関しては達成したと思います。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

「子ども日本語教室」がスタートしたので、これからこの教室運営のために必要な人数の日本語での学習支援ボランティアが必要になりますので、また、「指導者養成講座」をする必要があります。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携 特に関連しての事業はありませんが、新しい事業としてスタートすることができました。11月に講座が終わってすぐ12月5日から「子ども日本語教室・未来塾」として毎週土曜日の9時半から11時半まで小学生及び中学生の日本語及び日本語での学習指導を始めました。その教室でボランティア指導者として15名が参加しています。講座の8割を出席した人が22名でそのうちの15名です。ちなみに来ている外国籍の子供たちはペルー・ブラジル・フィリピンなどです。日本語を母語としない子供たちが学校の勉強についていくのは大変なようです。

② 研修後の人材活用

この研修の参加者が「子ども日本語教室」の「先生」としてボランティアで教えます。

(12) 今後の課題

ボランティアとして子どもに教えに来てもらうのに、無償ということは考えなくてはならないことだと思います。